

# 議論: サーベイパラメータ

観測夜数を半分にすると

探査面積、限界等級、バンド数のどれは  
譲歩可能でどれは譲れないのか

純粋にAGNサイエンスの観点から検討

天域選択

観測戦略

deep

各バンドの観測の順番

強度変動のサンプリング

# 事前にいただいたコメント

- $z \sim 6$ のLLQSOの観点から(浅見、松岡)
  - l, z, yの深さは今より浅くなるのはさげたい
  - $2000 \text{ deg}^2 \rightarrow 1000 \text{ deg}^2$ になってでも、深さが重要
- AGN全般(今西)
  - g,r,i,z,y 5バンド
  - 1000平方度
  - 積分時間はそのまま(zは15分に)
  - 観測領域は、VIKING-N
- NIR imageがあるfieldであることは絶対に譲れない

# Wide

- area 2000  $\rightarrow$  1000 deg<sup>2</sup>
- band数は減らさない
  - 特にYはhigh-z quasarにとって譲れない
- 浅くしない
- VISTA/VIKING-N fieldの優先度が高い
  - NIR imagingがある領域であることはhigh-z quasarにとって譲れない
  - UKIDSS-LAS-Nも候補

# Deep

- $z \sim 6, z \sim 7$  faint quasars
- $z < 4$  variable objects
  - grizY